

<b>剣を打ち直せるか イザヤ 2:1-5</b>	2024. 8. 5 (葉月) 丘の上 NO. 730 春日部福音自由教会 山田豊
---------------------------	----------------------------------------------

ニューヨークの国連広場には、イザヤウオールと呼ばれる壁があるそうです。そこには、イザヤ 2:4 が刻まれています。

They shall beat their swords into plowshares,  
and their spears into pruning hooks;  
nation shall not lift up sword against nation,  
neither shall they learn war any more.

彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。

国は国に向かって剣を上げず、もう戦うことを学ばない。

国連の理想、世界の国々の理想とするところでしょうが、現実には、この地球上のある地域では、戦争、内戦、迫害が起きているのです。平和の祭典と言われるオリンピックがパリで開催されていますが、オリンピック休戦も宣言は出されていても、戦争は継続されています。それどころか、イスラエルの関与とされるハマス指導者の一人が暗殺されるなど、新たな戦争緊張が高まっています。

イエスのいた時代は、ローマの平和と言われていました。ローマ軍による力の支配で抑えられていたからです。しかしイエスが説かれた平和とは、神の平和、シャロームでした。人の手による平和は、ローマ帝国が滅びたように、今も戦争が続いているように、完結することがありません。

剣を鋤に打ち直す、槍を鎌に打ち直すとは、武器から農具を作ることであり、争いから平和を作ることの象徴です。かつてイエスは、「わたしは、平和ではなく剣をもたらすために来ました」と言われました。このみ言葉は、前後の文脈から、イエスに従うことの厳しさを表すものであると解釈されます。しかし、広島原爆投下時に2才であり、兄をなくされたK先生のこの個所をめぐる解説には、本気で平和を作ろうとしているのか、と読者に迫るものがあります。平和とは、争いがないことだけを言うのではありません。心身がともに健やかであり、自由、正義、希望、喜びがなければ平和とは言えないのです。

今日、人間だけでなく、この地球上に住んでいる生物の生きる環境が著しく破壊されています。耕作地が、戦争のための基地として取り上げられているのです。鋤や鎌が、剣や槍に打ち直されるということが起きているのです。

このような中で、剣や槍を平和の道具に打ち直せるのか、真剣に祈り、考えなければならないテーマなのです。

引用聖句

マタイ 10:34 わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っではいけません。わたしは、平和ではなく剣をもたらすために来ました。

マタイ 26:52 そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに収めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。

ヘブル 4:12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

エペソ 6:17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。